

“チャレンジは何度でも 飛躍は永遠に”

～挑戦と創造と飛躍と、そして感動を～



会報誌編集会議
～ピーエス技研(事務局)～



役員会
～涵徳亭～



役員会
～涵徳亭～



役員会
～ピーエス技研(事務局)～



横浜まちめぐり
～横浜市大通り公園～



横浜まちめぐり事前検討会
～横浜スタジアム前～



第35号

題字 野崎耕二書(30年卒)
 発行所 薩南工業高等学校
 同窓会関東支部
 編集 阿久根 学
 編集 建築科
 発行日 2022年7月23日
 印刷所 株式会社 盈進社
 東京都千代田区飯田橋1-5-7
 TEL 03(3262)3471

関東さつなん主な活動内容

- ◆ コロナ禍で同窓会活動が制限される中、関東支部の主な活動内容を紹介します。
- ◆ 令和三年十月二十三日(土)
 (役員会) 本部会報誌送付作業・意見交換(多くの会員に会報誌を読んでもらうためには、HPを見てもらえる魅力ある内容)
- ◆ 令和三年十二月五日(日)
 (横浜まちめぐり) 下見見学会
- ◆ 令和四年一月十五日(土)
 (役員会) 銀座事務所は一月末日をもって閉鎖のため最後の役員会となる。令和四年度総会・懇親会の開催日時や会場の確認・会報誌発行スケジュール確認・現在まで銀座事務所を役員会会場に提供いただいた桑本野副会長へ感謝の気持ちを贈呈
- ◆ 令和四年三月十九日(土)
 (役員会) 会報誌原稿・広告の協力依頼
- ◆ 令和四年四月二日(土)
 (セントラル関内まち歩き) 横浜(関内)の魅力発見ツアー開催 有志十九名
- ◆ 令和四年五月二十一日(土)
 (第三十五号編集会議・編集等)
- ◆ 令和四年七月二十三日(土)
 (役員会) 総会懇親会案内・会報誌の発送
- ◆ 令和四年九月十日(土) (予定)
 (役員会) 総会準備最終確認
- ◆ 令和四年十月一日(土) (予定)
 (総会・懇親会開催当日)



役員会終了後の懇親会
～銀座事務所～



6面につづく



上・国吉様による横浜市街地模型を見ながら横浜市・都市デザインの説明を受ける見学会のメンバー。下・鹿児島出身の国吉直行様(後列:左から3人目)を中心に集合写真

同窓会関東支部総会のお知らせ

日時 令和四年十月一日(土)
 受付 午前十時半から
 開始 午前十一時より終了十五時
 場所 総合宴会場 オールラム
 台東区東上野一―二六―二
 電話 〇三―五八―二一―二二三
 交通 山手線・京浜東北線 御徒町駅北口徒歩8分
 大江戸線 つくばエクスプレス線
 新御徒町駅「A1」出口徒歩2分
 日比谷線 仲御徒町駅北口徒歩6分
 銀座線 稲荷町駅 徒歩5分
 特別講演 吉留 浩一氏(昭和四十二年建築科卒)
 演題 天才人への招待状(美と思想について)
 レオナルド・ダヴィンチの前世は空海だった?

年会費納入のお願い

薩南工高同窓会関東支部は、これまで皆様方のご協力のもと「活力ある支部活動」を心がけ運営してまいりました。今日まで休むことなく活動できましたのも、皆様方のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

今後とも安定した会の運営には、皆様の年会費納入が必須の条件であり、また、年会費が同窓会活動の唯一の財源です。ぜひ、同窓会活動の趣旨をご理解いただき、同封の振替用紙でご送金お願い申し上げます。 役員一同

支部年会費は 2,500 円です。
 どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本誌ガイド

- ※「チャレンジは何度でも 飛躍は永遠に」……………1
- ※関東さつなん活動内容……………1
- ※横浜市・セントラル関内まち歩き……………1
- ※年会費納入のお願い……………1
- ※同窓会関東支部総会のお知らせ……………1
- ※本部会長・支部会長・学校長ご挨拶……………2
- ※母校だより(各科の近況)……………3
- ※支部会員の活動報告……………4
- ※関東支部役員名簿 会務報告 会計報告 総会会場……………5
- ※関東支部ホームページ案内・事務局所在地……………5
- ※銀座事務所の思い出……………6
- ※特集 横浜市・セントラル関内まちめぐり……………6
- ※編集後記……………6



神奈川県立博物館
正面の大ドーム

同窓会関東支部活動報告

「横浜市・関内の見学会」

「ステップアップIN横浜」
 令和四年4月2日(土) 快晴
 参加者 19名

参加者のコメント

◆ 都市デザイン横浜展で50年以上にわたる横浜のまちづくりに鹿児島出身の方が中心で活躍されていたことに感動しました。
 (S49機械科卒業 東垂水貴子さん)

◆ 桜の時期で天気も良く、三溪園ではもう少し滞在時間が欲しかった。開催中の展示会はまちの模型が素晴らしいです。
 (東垂水貴子さん)

◆ 思いのほか大勢の参加で、案内にも気合が入りました。UD50年展も見学できました。
 (S49年建築科卒業 平山正義さん)

◆ 都市造りには計画から建設まで長い年月と多くの人々が携わっている。

海外の多様な異文化を受け入れながら、同時に多くの日本文化を発信した自由で開かれたまち横浜関内……そこに平山正義さん(昭和49年建築科卒)が関係していた。

今回は、横浜を拠点に建築やまちづくりに活躍している平山さんの案内で関内を歩きました。その説明は、関内に暮らす人々への愛とまちへの想い、建築への情熱があふれ、氏のモットーである「一人との出会いを大切に」「人生も仕事も仲間と楽しく」を実感できる内容でした。

◆ 横浜はすばらしいまちですね。初めて知ることが盛り沢山でした。案内役の平山さんは横浜市が大好きだと話していました。
 (S48年機械科卒業 田中逸穂さん)

◆ 関内は観る場所や楽しむ場所が多いことを知りました。また、まちづくりに同郷の方が携わっている、より親しみを感じました。(会員の友人、枕崎高卒 石田京子さん)



ご挨拶

日頃より関東支部の皆様方には本部同窓会の運営に対しご協力、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

「会報」関東さつなん(第三五号)が会員相互の親睦融和と情報交流の場として長きに渡り発行されていることは、誠に素晴らしいことであり、支部事務局並びに編集担当の皆様方のご尽力のお陰と感謝申し上げます。

昨年にも新型コロナウイルスの影響で総会や親睦会など、全てを中止せざるを得ませんでした。関東支部の皆様とは、創立百周年記念式典の年にお会いできていません。今年こそは、お



継続こそが大事だ

伝統と歴史に輝く関東さつなん同窓会支部会長の阿久根です。

同窓会員の皆様におかれましては健康で無事にお過ごしされていると思います。この3年間コロナ禍で汲々と過ごしストレスや人恋しさに慣れない中最近やっと落ち着いた生活を送れるようになったと感じています。昨年も総会は中止に迫り込ま



ごあいさつ

同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に対し物心両面に渡る暖かいご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

校長として赴任し2年目を迎えます。昨年度は、コロナウイルス感染症第4波から6波までを経験し、変異株にも苦しめられた一年でした。その影響で、学校行事の中止や縮小、学級閉鎖を余儀なくされ、思うような教育活動が展開できませんでした。しかし、その中でも生徒・職員がそれぞれ知恵を出し合い、創

本部同窓会会長 橋口良一
会いできる事を楽しみにしています。

昨年度は、同窓会本部の活動として南九州警察署前に設置した交通安全LED電飾看板の塗装補修や、同窓会所有のねぶたの点検作業、正門の植栽作業を行いました。

現在、同窓会本部の活動費は毎年卒業生から同窓会永年会費として一人四千円ずついただいているのが活動資金となっており、しかし近年の生徒数の減少によって活動資金が不足しつつあります。このような状況を鑑み、同窓会のホームページを立ち上げ、各企業から年間五千万円を企業広告を掲載する旨の賛

関東支部会長 阿久根 学
れましたが、今年10月開催に向け役員一同準備を進めています。

また東京オリンピックが50年ぶりに開催され日本人選手が華々しい活躍に日本中が沸いたと思います。しかし競技現地の応援もかなわず少々寂しい思いを抱きました。皆様はいかがだったでしょうか。現在ウクライナにロシアが進

薩南工業高等学校校長 堀之内公郎
意工夫して諸行事等に取り組みたいことは意義深いものだったと思います。

さて、本校は本年度で創立百十三周年目を迎え、古き伝統と歴史を受け継ぎつつ、時代の流れに合わせた教育の推進に、生徒・教職員一丸となって取り組んでおります。今後も各教育活動を通じて、地域や日本・世界に貢献できる人材の育成を目標に、感染対策を十分に講じながら日々研鑽を積んでいきたいと考えております。

助金をいただくようにしました。昨年度は十三社から協力をいただいています。今年度は各支部の総会で、各地域の企業のご協力をいただきたくと考えています。

また、活動費不足を解消するために、今年度から全同窓生に對しての年間二千円の協力費をお願いしたいと考えています。ご協力をお願いと同時に、会報誌「さつなん」を同封いたしました。ご協力をいただいた皆様は、協力金芳名録に掲載させていただきます。このような活動を通じて、母校の活性化を図ってきたいと考えております。

今年度の新入生は百二名でした。全校生徒二七六名です。これからは薩南工業高校の歴史を守っていくために、更なる活動

行し戦争状態に陥っています。21世紀にこのような野蛮な事態があることを誰が予想できたでしょうか。中国、北朝鮮等も我々日本人にとって油断のならない事態が起こらない事を願います。

前年支部の役員も新たに新設部門を含め新たな伝統を作れるよう、また伝統ある母校の歴史が継承されますように尽くしていきたいと思っております。そのためには既存会員の増強、新会員の入会促進、特に若手会員の入会促進に力を入れたいと思

が、関東支部会員の皆様方の、これまでと変わらぬご理解ご支援ご協力を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様への益々のご健康とご多幸を祈念挨拶とします。

を続けて行く考えであります。結びに、コロナ禍において同窓会活動がなかなかできない状態ですが、今後も母校のために同窓会としてできる限りの活動を続けて参ります。関東支部会員の皆様方のご健康と、ご多幸を祈念申し上げ、挨拶いたします。



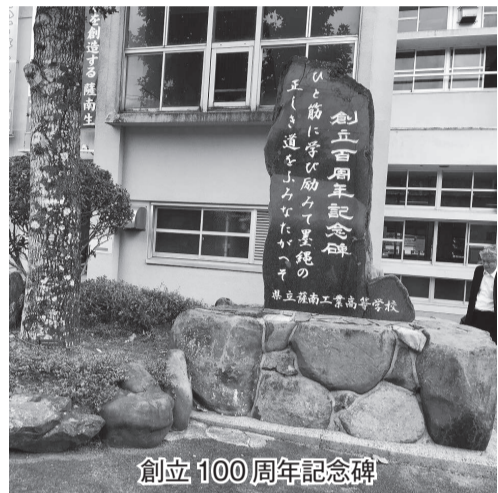
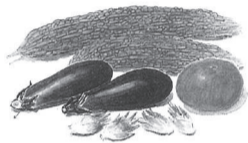
令和元年本部同窓会会長ごあいさつ風景

今まで昭和30年代の先輩方の絶大なご協力のお陰をもつてこの同窓会が継続できていることに感謝申し上げ、総会懇親会に出席してよかった、また来年も体が動くうちは行きたい、と思

ついでいただける関東支部総会にしたいと思っております。継続こそ我々の願い、そして希望であります。是非とも皆様のご協力の方宜しくお願いいたします。



110周年記念事業



創立100周年記念碑

関東さつなん

電気科・情報技術科役員一同

副会長	桑木野 智	第1回	S41年卒
会長	山崎 幸雄	第1回	S41年卒
副会長	阿久根 学	第5回	S45年卒
幹事	柳 翔子	第7回	S47年卒
幹事	蘭田 哲昭	第5回	S45年卒
幹事	佐藤 高峰	第7回	S47年卒
幹事	郷之丸 忠明	第18回	S58年卒

笑顔あふれる...我が科のテーブルで年にいっど位は大いに楽しみませんか。

祝 関東さつなん

建築科役員有志

野間善治	(S36年卒)	吉留浩一	(S42年卒)
草原陸雄	(S46年卒)	小蘭照美	(S50年卒)
篠原孝志	(S52年卒)	柿迫浩人	(S60年卒)

電気科45年卒一同

阿久根 学	蘭田 哲昭
上原 亨	田中 春夫
山口教之	松山 義弘
取違 道夫	塗木 孝治

祝 関東さつなん 35号

土木科卒有志

桃蘭和好	(S35年卒)	福留 勲	(S44年卒)
新原 亨	(S49年卒)	西野洋一	(S55年卒)
市坪勝則	(S58年卒)		

祝 関東さつなん35号

何を創るかはおまかせします。

知的創造

必要とときに、必要なだけ。

株式会社 盈進社 代表取締役社長 下園典子

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東聖堂ビル5F
TEL 03-3262-3471代 FAX 03-5210-7226
URL: www.eishinsya.co.jp Eメール: info@eishinsya.co.jp

薩摩焼酎 白波

白波は20歳を過ぎてから。お酒は適量。飲酒運転は法律で禁止されています。 | 薩摩酒造株式会社
総販中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。 | <http://www.sawama.co.jp>

株式会社 SAWAコーポレーション

代表取締役 沢津橋 敏郎 (昭和49年 建築科卒)

クリニックのプランから施工リフォームの各種改修

〒239-0806 神奈川県横須賀市池田町 1-1-5-307
TEL・FAX 046-876-9218
携帯 080-3219-0976
E-mail: sawatsubashi.t@gmail.com

ARCHITECTS ASSOCIATES YOKOHAMA

株式会社 アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ

代表取締役 平山正義 (昭和49年 建築科卒)

横浜市西区桜木町5-24-3 サンワビル
TEL045(201)7062・FAX045(201)7176
URL <http://www.aa-yokohama.co.jp>

話力総合研究所

所長 永崎 一則 (S19年 建築科卒)

〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵 3-10-17
TEL 048-861-1010
FAX 048-861-1010

総合建設業 眞生工業株式会社

東京都知事許可 (特-30) 第114762号

代表取締役 真畑 徳盛 (S36年 採鉱科卒)

[薩南工高同窓生 4名在籍]

〒191 0061 東京都日野市大坂上 2 10 11
TEL (042) 582-8750
FAX (042) 582-8751

人と環境への思いを持って 地元とともに未来を築く。

橋口建設株式会社 Hashiguchi Construction CO., Ltd.

取締役会長 橋口 良一 (S41年 土木科卒)
代表取締役 北 寛 郎 (H4年 建築科卒)

〒897-0133 鹿児島県南九州市川辺町下山田 9 8 9
Tel : 0993-57-2511 Fax : 0993-57-2034
URL : <http://hasiken.co.jp/>

地元で育てられて、おかげさまで43周年

牧添土地家屋調査士・行政書士事務所

土地家屋の登記・調査・測量・境界確認の専門家
土地利用許可・会社法人設立等の
官公署許可申請の専門家

所長 牧添 豊海 (S40年 土木科卒)

〒267-0061 千葉県緑区土気町370番地6
TEL 043(294)3766
FAX 043(295)3704



いどむ

昭和四十九年 建築科卒 君野俊男

昭和49年3月に卒業、大都会に憧れ、大阪の建設会社に就職しました。

当時は、第一次オイルショックの翌年で採用内定に影響があるのではと、不安な日々を過ごしていましたが無事入社する事ができました。



憧れ・魅了され・癒され

昭和四十九年 機械科卒 下之蘭啓仁

街の明かりがとてきれいなヨコハマ、ブルーライトテレビや映画のワンシーンに出てくるようなエキゾチックな港街の情景を思い浮かべ、昭和49年4月、横浜市役所水道局に入庁しました。

当時、横浜市役所には、土木科、建築科、地質科の名だたる薩南工高の先輩方が活躍していた、中でも水道局には多く在籍していました。そのような職場の環境は右も左も分からない私にとって、とても安心感があり、心強くもありました。

水道局では、機械・電気設備の維持管理、プラントの設計工事・監督などを担当しました。その後、水処理技術の実験・研究、危機管理対策、また、他市・他県の水道事業体の視察調査などの水道行政に関わる業務を多岐にわたり携わりました。

今、横浜みなとみらい地区は開発が進み、ベイサイドにはタワーマンションや商業施設、娯楽施設が次々にでき、華やかな街に変わり多くの人々を魅了しています。私自身もお気に入り、場所を時間をあければ出かけて

もやろうと決意、こそくり大工、積算、工事管理、店舗業者の手伝いなど色々なことを経験しました。その間、同級生には色々な場面で大変お世話になりました。本人たちの住まいだけでなく、リフォーム工事など多くの仕事を紹介してもらったことは、学友との絆に感謝し、有難く思っています。

独立直後のことですが、以前私が建設した薬局の施主の方に挨拶に行くと、「おお、君野君よく来たね」と心暖かい言葉をかけていただきました。聞く、現在その薬局の増築を計画中とのことでしたので、早速「見積りさせてもらえませんか」と遠慮気味に尋ねると、「建設は君野君に任せよう」と言われ、設計が

に常日ごろから指導された「空振り」は許されるが、見逃しは許されぬ」という言葉に触発され、意識改革のきっかけとなり同時に、職域を超えた周りのスタッフや仲間の助力により多くの問題を解決することもできました。このような刺激のある環境下で多くの経験ができたことは、人生の糧となっています。これまでの在職46年間を通して微力ではありましたが、社会インフラの一翼を担い少しは社会貢献できたのかなと振り返っています。

現在、住み慣れた横浜を離れ、山に囲まれた田舎の温泉町で健康寿命を意識しながらスロースペースを楽しんでいます。

また、私の優柔不断な性格は、お世話になった上司



横浜市役所水道局の薩南土木科先輩の退職祝いのおとコマ

ら施工まで受注することができました。独立して間もないころで経営上も大いに助かりました。私の会社は「自然素材に特化」した家造りが中心です。人にやさしく、木の温もりを感じながら、健康的に過ごせる家を作る事が自社の責務だと考えています。

最近「ITの進化・社会の変化に対応した家造り」や「SDGs・持続可能な開発目標」の「住み続けられるまちづくり」「次世代への事業承継」などは緊急の課題だと考えています。時には、体力の衰えを感じることもありますが、新たな可能性に挑み続けたいと思っています。

同時に、職域を超えた周りのスタッフや仲間の助力により多くの問題を解決することもできました。このような刺激のある環境下で多くの経験ができたことは、人生の糧となっています。これまでの在職46年間を通して微力ではありましたが、社会インフラの一翼を担い少しは社会貢献できたのかなと振り返っています。

現在、住み慣れた横浜を離れ、山に囲まれた田舎の温泉町で健康寿命を意識しながらスロースペースを楽しんでいます。

また、私の優柔不断な性格は、お世話になった上司



支部会員の活動報告

初めて覗いた金属顕微鏡に写し出されたのは美しい金属の組織でした。実習棟で供試材の金属組織を観察するため表面が鏡面になるまで一生懸命に研磨したのは懐かしい思い出です。

金属の中で特に魅力を感じたのが「鉄」です。熱処理によって組織・精製構造と性質を様々に変化させる事ができます。鉄は硬くてもろい性格を持っていますが、鍛えることでねばりがある強靱な鉄になります。叩いて(鍛えて)形成(造る)する「鍛錬」もここから生まれた言葉です。

「鉄」の最大の魅力は色味です。緑みを含んだ濃い青色は藍鉄色と呼ばれ、一般的に「くろがね」ともいわれます。藍色は日本人の生活に深く根付いた色



鉄に魅せられて

昭和四十九年 小田代 洋 金属工業科卒

で、藍色の最も深い色味は藍鉄または紺鉄と表現され、古くから親しまれています。街でよく見かけるマンホールの蓋は踏まれるほど鉄色が増します。人や車の往来が多い踏切のレールも美しい鉄色を見ることができ

ます。機会があったら、じっくり見て、触って頂きたいです。「鉄」から高圧変電設備の試験業務を行う会社を起業したことで完全変態(最終脱皮)へのステージとなりました。自分をまったく新しく変えるプロセスは行動範囲(景色)も広がります。味も増してきたと感じています。生まれ育った知覚、そして自分に豊かな愛情を注いでくれた両親と母校に感謝と誇りを持ちながら、さらなる進化と可能性を目指して新たな色味の変化を楽しみたいと思っています。

懐かしい思い出が浮かんでくる。現在は残念な事に寄宿舎の姿は無いが、校舎近くに「母ヶ岳」に向かつて立派な「日新寮」が建ち、遠距離通学の後輩達を育んでいる。その姿は僅かであるが、私にとって古き良き母校の思い出を語りかけているようだった。

最後にどんな時代であっても、経験を積み重ね挑戦することが、「飛躍は永遠に続くこと」を後輩の皆さんへ贈る言葉としたい。

お元気ですか…… 同窓会で飲みましょう。



当時の寄宿舎 あれから59年

- 関東さつなん 機械科卒有志
- 黒瀬 勝弘 (S37年卒)
 - 羽山 勝男 (S37年卒)
 - 岩井 宗志 (S40年卒)
 - 尾曲 正孝 (S41年卒)
 - 田中 逸穂 (S48年卒)
 - 蔵前 充廣 (S37年卒)
 - 宮原 秀朗 (S38年卒)
 - 東 正則 (S41年卒)
 - 丸野 晴久 (S42年卒)
 - 東垂水 隆彦 (S49年卒)

- 関東さつなん 普通科有志
- 東 治男 (S32)
 - 松山 達郎 (S32)
 - 中木原 盛夫 (S33)
 - 下野 敏孝 (S33)
- 羽生千代子さんは、2022年5月に逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。
- 普通科一同

当時の寄宿舎は、旧陸軍航空隊(知覚特攻隊)の古い兵舎(貴重な遺産)を利用した建物で、清らかな麓川と知覚の古い町並みを挟んで、校舎から北方三〇〇m程の南緩斜面に二棟並んで建てていた。

懐かしい思い出が浮かんでくる。現在は残念な事に寄宿舎の姿は無いが、校舎近くに「母ヶ岳」に向かつて立派な「日新寮」が建ち、遠距離通学の後輩達を育んでいる。その姿は僅かであるが、私にとって古き良き母校の思い出を語りかけているようだった。

最後にどんな時代であっても、経験を積み重ね挑戦することが、「飛躍は永遠に続くこと」を後輩の皆さんへ贈る言葉としたい。

懐かしい思い出が浮かんでくる。現在は残念な事に寄宿舎の姿は無いが、校舎近くに「母ヶ岳」に向かつて立派な「日新寮」が建ち、遠距離通学の後輩達を育んでいる。その姿は僅かであるが、私にとって古き良き母校の思い出を語りかけているようだった。

最後にどんな時代であっても、経験を積み重ね挑戦することが、「飛躍は永遠に続くこと」を後輩の皆さんへ贈る言葉としたい。

歴史をつなぎ 街なかをつなぎ 人をつなぎ

国登録有形文化財 「武蔵屋」まちかど博物館 館長 岩井宗志 (S40年 機械科卒)

〒270-1326 千葉県印西市木下1648-3 TEL: 0476-42-6127 e-mail: munesi@zpost.plala.or.jp

おじゃったもんせ!!

豊富なかごんま料理と 焼酎で待ちよっもんで!!

郷土料理

薩摩の里

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-18-10-2F TEL 03 (3363) 3258 FAX 03 (3350) 1483 店主 山下由人 (知覚町中郡出身)

令和3年度～令和4年会務報告

令和3年 6月	5日	関東さつなん会報誌第34号編集会議【最終校正と発送までの役割分担等】 (銀座事務所) 4名出席
7月	24日	役員会【①関東さつなん会報誌第34号発送作業と令和3年度支部総会延期のご案内 ②役員会スケジュール及び令和3年～4年支部運営方針検討事項について】 (株ピーエス技研・関東支部事務局) 14名出席
9月	4日	臨時役員会【総会・懇親会の延期開催の有無を協議】(銀座事務所) 8名出席
10月	23日	役員会【①本部会報誌第32号発送作業②支部年間計画書・目標の確認③今後の母校との絆④令和4年総会特別講演について⑤令和4年支部総会会場・時期について⑥令和2年度会計報告・会計監査報告】(株ピーエス技研・関東支部事務局) 14名出席
令和4年 1月	15日	役員会【①関東さつなん会報誌第35号編集内容②令和4年総会会場の選定調査報告及び総会へ向けての準備(銀座事務所) 8名出席
3月	19日	役員会【①関東さつなん会報誌第35号編集会議内容の報告②令和4年総会準備・役割分担③横浜セントラル関内まち歩き見学会実施の要領説明】 (株ピーエス技研・関東支部事務局) 11名出席
4月	2日	横浜セントラル関内まち歩き見学会の実施 【三渓園・横浜関内地域での開港の道・緑の軸線・ウォーターフロント軸など見学】 19名出席
令和4年 7月	2日	役員会【①関東さつなん会報誌第35号の最終校正】(盈進社にて)

役員会が活動の原動力になっているひとつは愛校心です。それぞれの卒年度の異なる後輩・先輩たちが学科を越えてお互い出逢い、励ましあって会議を進めていることに関東さつなんの役員諸子の意気込みや活性化を感じています。活動の主眼は総会・懇親会です。そのために会報誌を皆様へ届け多くの方が集まることができるように取り組んでいます。薩南工高で学び、知覧の環境や空気を共有した良き仲間の集合体です。会員のみならず総会と役員会へのご出席いただきどんなご意見でも心待ちしております。(常任幹事長 草原睦雄/記)

鹿児島県立薩南工業高等学校同窓会関東支部役員名簿

令和4年6月1日現在

役職名	氏名	学科	卒年	住所
会長	阿久根 学	電気	45	昭島市
副会長	中木原 盛夫	普通	33	調布市
副会長	桑木野 智	電気	41	川崎市
副会長	山崎 幸雄	電気	41	川崎市
副会長	田中 逸穂	機械	48	川崎市
常任幹事長	草原 睦雄	建築	46	八潮市
常任幹事	大隣 定	建築	49	市川市
常任幹事	柿迫 浩人	建築	60	板橋区
常任幹事	新原 亨	土木	49	鎌倉市
常任幹事	市坪 勝則	土木	58	松戸市
常任幹事	松永 健治	探鉱	33	東村山市
常任幹事	下野 敏孝	普通	33	松戸市
常任幹事	岩井 宗志	機械	40	印西市
常任幹事	東垂水 隆彦	機械	49	川口市
会計幹事(正)	篠原 孝志	建築	52	川崎市
会計幹事(副)	吉留 浩一	建築	42	三鷹市
会計監査	宿里 耕平	建築	33	八王子市
会計監査	下前 和則	建築	45	八王子市
事務局	市坪勝則(兼)	土木	58	松戸市
事務局	柿迫浩人(兼)	建築	60	板橋区
幹事	建築 平山 正義	建築	49	横浜市
幹事	土木・都市 西野 洋一	土木	55	江戸川区

役職名	氏名	学科	卒年	住所
採鉱・冶金	丸野 喬敬	冶金	35	川崎市
採鉱・冶金	小田代 實秋	冶金	35	埼玉県松伏町
採鉱・冶金	福元 倉吉	冶金	38	三鷹市
金属工業	小田代 洋	金属	49	横浜市
機械	黒瀬 勝弘	機械	37	熊谷市
機械	折尾 崇	機械	H7	渋谷区
電気・情報	藪田 哲昭	電気	45	府中市
電気・情報	柳 絹子	電気	47	江東区
電気・情報	佐藤 高峰	電気	47	鎌倉市
電気・情報	郷之丸 忠明	電気	58	あきる野市

名誉顧問	氏名	学科	卒年	住所
永崎 一則	建築	19	さいたま市	
顧問	古市 伸	冶金	26	市川市
顧問	田代 實範	土木	27	練馬区
顧問	東 治男	普通	32	鶴ヶ島市
顧問	松山 達郎	普通	32	練馬区
顧問	川野 利弘	建築	33	千葉市
顧問	繁村 隆巳	建築	34	所沢市
顧問	桃菌 和好	土木	35	八王子市
顧問	野間 善治	建築	36	八王子市
顧問	福留 勲	土木	44	鎌倉市

令和2年度 関東支部会計報告(案)

令和2年5月20日～令和3年7月27日

収入の部		支出の部	
1、総会会費収入 (中止)	-	1、総会費用(御礼金) (中止)	-
2、年会費収入 (151×2500円)	377,500	2、会報誌作成・案内状印刷費等	392,667
3、会報誌広告収入 (20口)	200,000	3、会報誌(本部・関東支部)発送費	161,000
4、寄付金(御祝儀金、下記資料-1参照)	66,500	4、通信費・事務費	69,730
5、雑収入	-	5、弔慰金、他団体との交流費	-
6、利息	5	6、交通費(役員会議出席費含)	120,552
		7、雑費	31,936
		8、振込手数料・送金料金	38,849
		9、H・P更新保守費用+レンタルサーバ使用量	19,762
小計	644,005	小計	834,496
前年度繰越金	814,716	翌年度への繰越金	624,225
合計	1,458,721 円	合計	1,458,721 円

令和3年 7月 27日
上記の通り、報告いたします。
会計 篠原 孝志 吉留 浩一
会計監査報告
上記決算書について、会計帳簿(集計表)及び領収書、通帳記録、付属明細書等について、監査した結果、期日、金額、残高など適法かつ正確であることを認めます。
令和3年 8月 25日
会計監査 宿里 耕平 下前 和則

銀座事務所の思い出

昭和四十一年電気科卒

桑木野 智

東京の銀座4丁目の交差点から程近い所にプレハブの2階建ての銀座事務所がありました。土地はセイコーさんが建てて三十年ゼネコンさんが建てて三十年近く銀座事務所として使用されてきました。電気・空調設備関連の2社で1階の部屋を共同で使用していました。光熱費と家賃は0円でした。交通の便の良い所にありましたのでゼネコンさんの了解を頂き十数年前から役員会や編集会議を行って来ました。ここ数年はコロナ禍で会議を行うのも非常に大変でしたが、出来るだけ距離をとって、そして反省会は一応ビニル等で仕切って和気あいあい楽しんで、長い間ありがとうございました。(写真集を贈呈)



長い間ありがとうございました。(写真集を贈呈)

建築科33卒会 (関東地区会員)

「青春の母校よいつまでも」
今給黎昌俊 前山 一夫
上蘭 建藏 真畑 正盛
上野 信行 中川 笑子(建築科 37年卒)
神門 静鹿 幹事 川崎 明
加治佐 茂 幹事 川野 利弘
後藤 實 幹事 紀 健次郎
新澤 勝 幹事 塗木 幸夫
二田 満徳 幹事長 宿里 耕平
事務局 〒192-0364
東京都八王子市南大沢 4-13-1-402
宿里 宅

関東支部ホームページご案内

お手持ちのスマホ、PCからQRコードや「関東さつなん」で検索できます。令和の総会模様、横浜街歩き、母校記念式典模様など最新の写真を見られます。また、母校情報、広告協賛企業のホームページともリンクしています。同窓会の歌も楽しく歌えます。

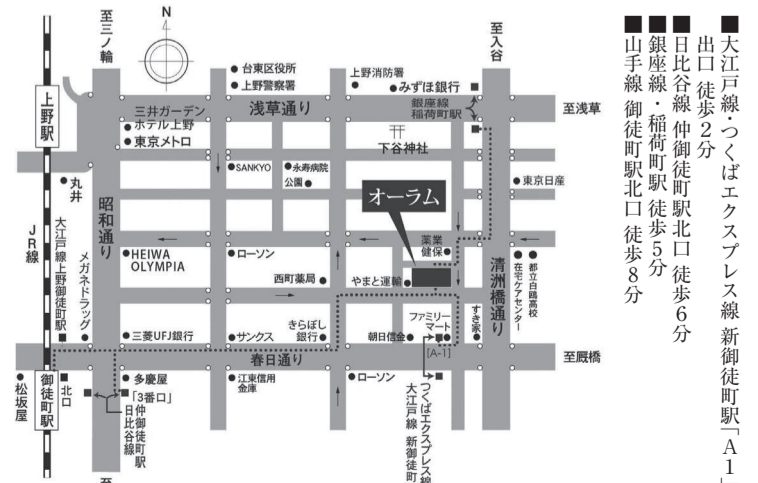
同窓会関東支部事務局 住所：昭島市拜島町 1-8-2
(株)PS技研内 阿久根学 (S45年電気科卒)
電話：042-549-1957
メールアドレス：akune@psgiken.com

長い間銀座事務所を役員会の会議場としてご提供ありがとうございました。おかげさまで支部の伝統や歴史の継承に資することができました。写真は感謝の気持ちを表し、ご祝儀と役員仲間との写真集を額におさめ贈呈いたしました。

役員一同、桑木野先輩のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げます。
常任幹事長 草原睦雄/記

総会会場

総合宴会場 オーラム
Tel 03-5812-1123 Fax 03-5812-1125
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-26-2 ジュエラーズタウン・オーラム
http://www.aurum-ueno.jp



計報

野崎耕二様(土木科昭和30年卒)
令和4年6月17日逝去
「関東さつなん」題字や画文集「一日一絵」など出版され、ご活躍されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

株式会社 クリエス

代表取締役 下前 和則
(S45年 建築科卒)

E-mail: k_shimomae@h-creas.co.jp
携帯：090-8809-3820
〒192-0045
東京都八王子市大和田町 5丁目 17-33
内藤第2ビル 301号室
TEL 042-649-1067 FAX 042-649-1068

代表取締役 折尾 崇 (H7年 機械科卒)

「出会えてよかった」といわれる会社でありたい。

お客様へ新しい価値を創造し
地域社会に貢献します。
お気軽にご相談ください。
全力でご支援させていただきます。



豊かな住生活と夢をお客様へ
株式会社 Orio

不動産、賃貸、売買、コンサルティング
借地、相続、買取、リフォーム

東京都知事(1)第96006号
TEL.03-6805-4300 FAX.03-6805-2370
all@ml.orio-realestate.com
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-20-11-1F

特集 横浜市・セントラル関内のまちづくり

春と秋に周辺の飲食店応援企画の「フード&ハイカラフェスタ」が開かれます。その中で、通りの一部で車を締め出し、子供から高齢者までゆっくり楽しめるイベントが開催されます。主催は、私も理事として参加している「関内まちづくり振興会」です。関内は今、市役所移転を契機に大規模開発ラッシュで、環境が激変しています。古くからのまち「セントラル関内」は「オールド&ニュー」をコンセプトに、振興会まちづくり部会では、まちの人や行政・大学と協力しながら、これからのまちづくりビジョンの策定に取り組んでいます。



『手回しオルガンとシャボン玉』さくら通りは八重桜が満開
令和4年4月17日(日)文・写真撮影 平山 正義さん

◆1面から
◆12月5日、まち歩きの下見見学会に参加しました。久しぶりのお出かけで楽しかったです。大変勉強になりました。
◆(S47年電気科卒佐藤高峰さん)楽しく有意義な一日でした。
◆三溪園や横浜の歴史、建造物など見られ色々勉強になりました。また桜が満開で、癒され満喫しました。
◆(公員の友人、橋本喜江さん)横浜市まち歩き、中華街で楽しいひと時を過ごさせていただき、誠に有り難うございました。
◆(S49年建築科卒津橋敏郎さん)懇親会への参加となりました。皆さんの母校への思いと絆を感じました。企画した平山さん、建築科の皆さんに感謝です。
◆(S49年金属科卒小田代洋さん)横浜市のまちづくりは、歴史・文化を大切に生かして造られていることが理解できました。
◆(S60年建築科卒柿迫浩人さん)関内支部の皆様の熱い情熱を感じました。
◆(柿迫浩人さん)横浜市は景観や歴史的建造物が都市デザインと融合し、楽しめるまちに発展している。
◆(S42年建築科卒吉島浩一さん)良き友よき仲間とともに横浜セントラル関内まち歩きという「ちむどんどん」する。
◆(S46年建築科卒草原隆雄さん)



横浜市街地の模型

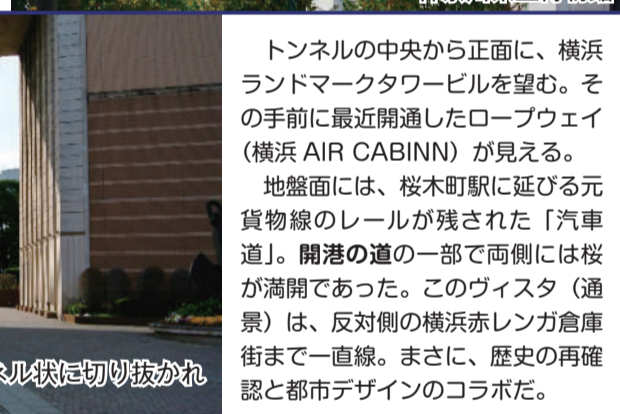
中央のビル群は関内である。中央左に緑の軸線の一部【日本大通りの設計はプラントン(1841~1901)英の土木技師・鹿児島県佐多岬灯台建設に携わる】が奥の横浜スタジアムから手前に伸びていて、象の鼻パークへと続く。
横浜港の左側に大棧橋国際客船ターミナルが、右側に赤レンガパーク・赤レンガ倉庫街が見て取れる。
都市デザイン横浜展「50年の歩み」より

1 中央のビル群は関内である。中央左に緑の軸線の一部【日本大通りの設計はプラントン(1841~1901)英の土木技師・鹿児島県佐多岬灯台建設に携わる】が奥の横浜スタジアムから手前に伸びていて、象の鼻パークへと続く。
横浜港の左側に大棧橋国際客船ターミナルが、右側に赤レンガパーク・赤レンガ倉庫街が見て取れる。
都市デザイン横浜展「50年の歩み」より



神奈川県立博物館

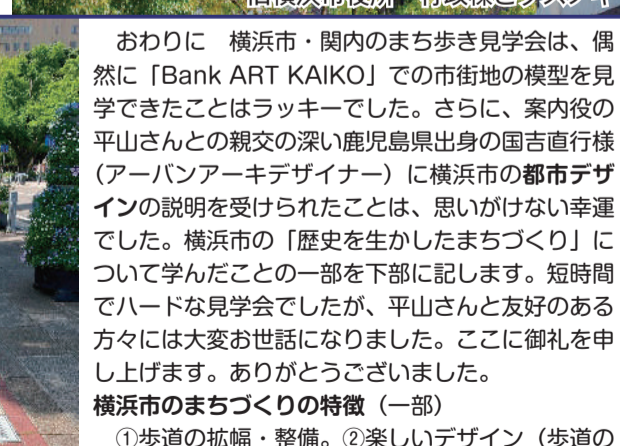
3 神奈川県立博物館 1904年竣工、旧横浜正金銀行本店、妻木頼黄(よりのなか)(1859~1916)設計、(ドイツ・ネオバロック調)は、1967年に博物館に再生した際、正面の大ドームも復原された。
「建築は国家なり」の強い意志と本格的な明治建築にかけたエネルギーを感じる。馬車道に面して、現在でもその存在は圧巻だ。



5 トンネルの中央から正面に、横浜ランドマークタワービルを望む。その手前に最近開通したロープウェイ(横浜 AIR CABINN)が見える。
地盤面には、桜木町駅に延びる元貨物線のレールが残された「汽車道」。開港の道の一部で両側には桜が満開であった。このヴィスタ(通景)は、反対側の横浜赤レンガ倉庫街まで一直線。まさに、歴史の再確認と都市デザインのコラボだ。

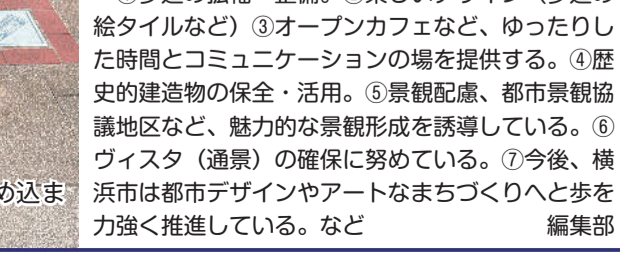


7 旧横浜市役所 行政棟は、村野藤吾(1891~1984)設計で、コンクリート打放しの柱・梁型を外にあらわし、その間の壁面は赤褐色のタイル張り、不規則なバルコニーが深い陰影を作っている。
この建築は、星野リゾートにより「レガシーホテル」に再利用される予定。建築と景観の保全と活用は横浜市の「歴史を生かしたまちづくり」に貢献。



旧横浜市役所 行政棟とクスノキ

9 おわりに 横浜市・関内のまち歩き見学会は、偶然に「Bank ART KAIKO」での市街地の模型を見学できたことはラッキーでした。さらに、案内役の平山さんとの親交の深い鹿児島出身の国吉直行様(アーバンアーキテクチャー)に横浜市の都市デザインの説明を受けられたことは、思いがけない幸運でした。横浜市の「歴史を生かしたまちづくり」について学んだことの一部を下部に記します。短時間でハードな見学会でしたが、平山さんと友好のある方々には大変お世話になりました。ここに御礼を申し上げます。ありがとうございました。
横浜市のみちづくりの特徴(一部)
①歩道の拡幅・整備。②楽しいデザイン(歩道の絵タイルなど)③オープンカフェなど、ゆったりした時間とコミュニケーションの場を提供する。④歴史的建造物の保全・活用。⑤景観配慮、都市景観協議地区など、魅力的な景観形成を誘導している。⑥ヴィスタ(通景)の確保に努めている。⑦今後、横浜市は都市デザインやアートなまちづくりへと歩を力強く推進している。など 編集部



日本大通りの歩道
歩道の所々に歴史的絵タイルがはめ込まれ、まち歩きの楽しさを演出



馬車道 歩きやすい歩道へのまちづくり

歩きやすい歩道の整備
・1、2階の壁面後退により歩道幅を広げる。歩道には絵タイルが楽しい。
・バリアフリー(段差をなくし車イスも通行しやすく、歩道幅は買物や生活者に余裕を与える)
・交差点のコーナーを隅切りすることで見通しをよく。広い場所では彫刻などでアートなまちづくり。
・無電柱化(電線の地中埋設は景観及び災害時の障害物減少にも重要)
・グリーンアップ(市の補助事業)
・ガス灯・まちの魅力発信プレート
・ガードレールは景観的配慮を

4 左・旧日本火災横浜ビル(1922年矢野又吉設計、1989年外壁の一部を保存、日建設計)は、建築容積の割増しにより、歴史的景観(低層部)が保存できた例。
右・写真師下岡蓮杖(1823~1914)伊豆下田生まれ1862年、野毛に初めての写真場を開業。その後、弁天通りに進出。1867年、太田町5丁目角地に写真館を開き大繁昌。我が国に於ける写真技術の先覚者として近代文化の発展に貢献した。



旧日本火災横浜ビル

日本写真の開祖の碑



クイズ: 横浜市内に三塔(キング・クイーン・ジャック)が同時に観えるポイントは何か所あるでしょうか?

左・開港記念会館(1917年竣工)「ジャック」の愛称。原案は福田重義のコンペ案による。隅角部の高塔や復原されたドームと屋根が横浜のまちに楽しいアクセントを与える。中央・神奈川県庁舎(1928年竣工)「キング」の愛称で有名。右・横浜税関庁舎(1934年竣工、大蔵省)「クイーン」の愛称。緑の帽子を冠した気品に満ちた洋館は、女王のイメージがぴったりである。ちなみに、3月10日は「横浜三塔の日」です。

8 象の鼻パークより、クルーズ船「飛鳥II」と大棧橋ふ頭を望む。手前の石積みは「象の鼻」で、わずかに湾曲しながら右から左に延びる。
横浜の魅力の一つに、港とまちが近いことがある。その風景は、海外への旅情を誘う。潮の香りと海の風を感じていると、「飛鳥II」の出港の汽笛がまちなかまで響き渡る。



クルーズ船「飛鳥II」と大棧橋



今回の取材で横浜市がなぜ魅力あるまちなのかよく分かりました。
今回のテーマに掲げた、チャレンジと飛躍を求め、住みたいまちとして人気の高い横浜市の魅力について、在住の平山さん(建築科昭和四九年卒)の案内
官・民・そして企業の思いがひとつになっていくことではないかと感じました。
人が出会い、挑戦、創造することで未来へと飛躍していることに感動しました。
今年こそは無事に総会が開催でき、また多くのみなさんと出会うことを願って第三五号を発送させていただきます。
建築科 昭和六十年卒 柿迫浩人

編集後記

で関内を中心にまち歩きツアーを開催しました。新型コロナウイルスの影響で観光客は少ない中でしたが、我々有志十九名は消毒、会話を控えるなど注意を払い各建物、施設を見学させてもらいました。そこで感じたのが、このまちには歴史ある建物、景観を保存しつつ、現代にも魅力があるまちを造っていくという